旭市教育委員会
教育総務課(☎85-8617)
生涯学習課(☎85-8627)
体育振興課(☎64-1132)

抱え込まずにすぐ相談しましょう

専門家による「巡回相談」

旭市教育委員会では、全ての子どもが伸び伸びと充実した集団生活を送ることができるように、さまざまな教育活動に取り組んでいます。

その一環で実施している、一人一人の個性に合わせた特別支援教育のうち、今回は専門家による「巡回相談」について紹介します。

巡回相談とは

学校などで、子どもの集団での生活に不安を感じることや、心配ごとがある保護者から相談を受け付けます。相談の中で巡回の希望があった場合に、複数の巡回相談員が市内保育所(園)、認定こども園、幼稚園、小中学校を訪問します。訪問先でそれぞれに合った教育方法や支援体制について、教諭などと話し合うほか、保護者とも面談を行い、集団の中での子どもの様子や巡回相談での話し合いの内容などを伝えます。

相談事例

○会話のやり取りが苦手なのに、好きな話題のときだけは一人でずっと話している。
○急に予定が変わったり、思い通りにならなかったりするとパニックになる。
○周りのことが気になってなかなか集中できない。
○簡単なことのはずなのに、なかなかできない。
○すぐカッとなって、手や足が出てしまう。
○友だち付き合いが上手にできない。

巡回相談を希望する場合は

学校教育指導室に電話するか、通っている保育所(園)、認定こども園、幼稚園、小中学校で申し込んでください。申し込みの際に、気になっている様子などをお伝えください。

問い合わせ・申し込み先
教育総務課学校教育指導室　巡回相談担当(☎62-5353)

あさひ輝いた人々 第34回

スポーツの発展と教育に人生をささげて

塚本 一成(つかもと かずなり)(1905～2004年)

塚本一成は体育の教師を長年勤め、スポーツと教育の発展に生涯を尽くした人物です。

明治38(1905)年、栗源村(現在の香取市)の大橋家に生まれました。昭和6(1931)年、日本体育会体育学校高等科(現在の日体大)を卒業し、佐倉高等女学校の教師を経て、八日市場敬愛高等女学校に就任し、体育と音楽を担当しました。バレーボール部を立ち上げるとともに顧問を務め、強化のために初めて合宿生活を導入したことが、学校の記念誌に記されています。一成は「女学校時代は人生のバネとなった」と後に語っています。

この頃の女子教育は知育・徳育に重点がおかれていました。そんな時代にあって自ら「女子向体操実践要項」を作成し、女子の体力向上、体格の強化など体育教育の振興を図りました。

昭和22(1947)年、42歳で飯岡中学校長に、昭和31(1956)年には県内初の統合校である第一中学校長に就任し、スポーツを通して人格形成を進めました。昭和39(1964)年から昭和47(1972)年には飯岡町の3代目の教育長を務めました。

体操教育の基盤は小学校にあると確信し、匝瑳・海上・香取郡下の小学校教諭と共に研究し、自らも理論発表や実践指導にあたり、県下でも先進地域と言われるほどになりました。また、旭市体育協会設立にも尽力し、地域スポーツの発展に貢献しました。

昭和55(1980)年から、私立横芝敬愛高等学校長、平成3(1991)年からは長戸路学園理事となり、平成8(1996)年からは名誉学園長、理事会顧問を務めました。

「健康をつくれた幸福と、いろいろな意見を聞く用意と、何処へ落ち着くかの判断が誤りなく、社会人として、一家の主婦として、人のために尽くす能力を身に付けることができたことは、自分たちにとってこの上ない宝と感謝している」という教え子の言葉が、教育者としての一成の姿をよく伝えています。